

第 1 学年 技術

教科のめざす

【技術分野】

「技術とものづくり」

作品の製作をとおり、構想から製作までの「ものづくり」の流れを理解し、その中で製図や工具の安全な利用方法を習得する。また、それらの身につけた技能を実生活に生かし、よりよい生活を工夫し、想像する能力を養う。



「情報とコンピュータ」

コンピュータを活用するための基礎的な機能を知り、操作ができるようにする。

学習教材及び学習の進め方

使用教材	教科書 技術・家庭科（技術分野）（東京書籍）	持ち物	教科書 ファイル （配布プリント用）
学習進め方	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <p>課題の意味や身につける能力を理解し、目的意識を持って学習する。</p> <p>作業を通して自分のできることとできないことを把握し、能力を高める。</p> <p>作品作りは最後まであきらめず、あせらず、丁寧に取り組む。</p> <p>グループ活動では自分の作業のみに集中するのではなく、周りの人と教え合いをすることで、お互いの技能や知識の共有・定着を図っていく。</p>		
学習上の注意	<p>授業の中で様々な工具や機械を使う。できるだけ長い期間利用できるように大切に扱う。</p> <p>工具や機械の中には扱い方を間違えると大怪我をしてしまうものも数多くあり、安全な利用法を学習していないものには触らない。</p> <p>特に大型工作機械に不用意に触れたり、電源を触ったりしない。</p> <p>自分の使用する道具の管理を最後までしっかりやる。異常があった場合はそのままにせず、必ず先生に報告する。</p> <p>話を聞くときは作業を中断して聞こう。</p>		

学習内容及び評価基準について

学 習 計 画			評 価 に あ た っ て		
月	単元計画		評 価 の 観 点	評 価 の 方 法	
期	4	オリエンテーション ものづくり ・製品に適した材料 ・製図	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	各課題に関心を持ち、 様々な技能を意欲的に身 につけようとするこ ができたか。 周囲の安全や作業の進 み具合に気を配り、お互 いに学びあうことが できたか。	・学習の様子 ・提出物の内容 ・定期テスト
	5	(キャビネット図,等角図)			
	6	情報 ・コンピュータの仕組み と基本操作 ものづくり ・けがき さしがね			
期	7	ものづくり ・材料の切断 両刃のこぎり	生 活 の 技 能	工具や機器を正しく、 安全に使用することが できるか。	・学習の様子 ・提出物の内容 ・定期テスト ・実技テスト ・製作過程での技 能テスト
	9	情報 ・コンピュータの基本操 作(文書入力)			
	10	ものづくり ・部品加工 さしがね かな			
	11	系のこ盤 ヘルツァン ーのみ 木づち			
期	12	・組み立て さしがね 四つ目ぎり	知 識 ・ 理 解	工具や機器の名称や、 正しく安全に使う方法 を理解しているか。	・定期テスト ・提出物の内容
	1	情報 ・コンピュータの基本操 作(ネット検索)			
	2	ものづくり ・組み立て げんのう ・仕上げ 研磨紙(紙やすり)	学 年 末		